

就学前児童保護者用第2期燕市子ども・子育て支援事業計画
に関するニーズ調査票

保護者各位

調査のお願い

日頃から、燕市の幼児教育及び児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

燕市では、子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援新制度のもとで、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間とする「燕市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

このたび、2020年度からの次期計画の策定に向けた基礎資料とするため、市民の皆さまの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握するニーズ調査を前回に引き続き実施することとしました。

なお、この調査は、市内にお住まいの就学前のお子さんの中から無作為に選ばせていただいております。

また、ご回答いただいた内容について、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは、一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

皆さまのご意見が、今後の燕市の子ども・子育て支援を推進する上で、大変貴重な資料になりますので、ご多用のところ恐縮ですが調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願い申し上げます。

平成31年1月
燕市教育委員会

【 調査に関する問い合わせ先 】

燕市教育委員会 子育て支援課

電話（0256）77-8222(直通)

担当：子育て支援係（1階）窓口番号⑭⑮

調査票のご記入にあたってのお願い

※この調査票は無記名で行い、統計的に処理しますので、お答えいただいた方の内容が他に知られることはありません。

1. この調査は、封筒のあて名のお子さんを対象にしています。保護者の方がご記入ください。
2. お父さん、お母さんそれぞれへの質問には、それぞれご本人が考えた答えをご記入ください。
3. ひとり親家庭等で記入できない場合は、それぞれへの質問には答える必要はありません。
4. お答えは調査票の該当する項目の番号を○印で囲んでください。

また、には数字をご記入ください。数字は1枠に1字です。

時間は、24時間制〔例：午前8時→08時
午後8時→20時〕でご記入ください。

5. 調査票のご記入が終わりましたら、園から調査票が配布された場合は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、園の先生に提出してください。

また、郵送にて配布された場合は同封の返信用封筒（切手不要）でご返送ください。

回答期限 1月18日（金）まで

6. この調査票および返信用封筒には、お名前を記入する必要はありません。

（用語の説明）

この調査票における用語の説明は以下のとおりです。

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育園：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育園の機能をあわせ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・児童館・児童センター：
いろいろな年齢の子どもたちが自由に遊んだり、行事に参加する中で情操豊かで健全な児童を育てることを目的とした施設。また、一部の児童館では放課後児童クラブ室を併設
- ・放課後児童クラブ：
仕事や病気などの理由により、昼間保護者が不在になる家庭の小学生を対象に、指導員のもと、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図る事業。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
- ・なかまの会：放課後児童クラブが設置されていない小学校区に、放課後の学校施設等を利用し、子どもたちの遊びと交流の場としての居場所を確保し児童の健全育成を図る事業
- ・ファミリー・サポート・センター：
事前の会員登録により、子どもの預かりや送迎等の援助を受けたい会員（依頼会員）と援助を行いたい会員（提供会員）をマッチングさせ、相互援助活動の連絡・調整を行う事業。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

■ 封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの地区としてあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1. 燕地区 | 2. 吉田地区 | 3. 分水地区 |
|--------|---------|---------|

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。また、現在養育されているお子さんは何人で、あて名のお子さんは第何子ですか。

平成			年			月生まれ、	お子さん		人のうち第		子
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	-------	------	----------------------	-------	----------------------	---

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問4 この調査票にご回答いただいている方以外に同居している方(あて名のお子さんから見た続柄)についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|--------------------|-----------|-------|-------|-----------------|
| 1. 祖父 | 2. 祖母 | 3. 母親 | 4. 父親 | 5. 1～4 の兄弟または姉妹 |
| 6. あて名の子どもの兄弟または姉妹 | 7. その他() | | | |

問5 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他() | | | |

■ 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 5. いずれもない

⇒ 問6-1へ
⇒ 問6-2へ
⇒ 問7へ

問6で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

問6-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

⇒ 問1へ

問6で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

問6-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問 7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問7-1へ 2. いない／ない ⇒ 問8へ

問 7-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- * 1 「利用者支援事業」… 子育て支援センター等の身近な場所で、子育て家庭等から相談を受け、教育・保育・保健その他の子育て支援の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業

問8 子育て（教育を含む）をするうえで、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのような支援（人や場所）があれば良いとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

■ あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親の就労状況と (2) 父親の就労状況について、それぞれお答えください。

(1) 母親 【父子家庭の場合には記入は不要です】 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | ⇒ 問9
(1) -1へ

⇒ 問9
(2)へ |
|--|---|

問9 (1) で「1. 」～「4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

(1) -1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり 日 1日あたり 時間

(1) -2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻 時頃 帰宅時刻 時頃

(2) 父親 【母子家庭の場合には記入は不要です】 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | ⇒ 問9
(2) -1へ

⇒ 問11へ |
|--|---|

問9(2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

- (2)-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
就労日数や就労時間が、一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり 日 1日あたり 時間

- (2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻 時頃 帰宅時刻 時頃

問9の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は、問11へお進みください。

問10 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問9の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問12へお進みください。

問11 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になった頃に就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週あたり 日 1日あたり 時間

ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になった頃に就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週あたり 日 1日あたり 時間

ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

■育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 12 あて名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また、「4. 取得していない」に○をつけた方はその理由を下の番号からご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 就労形態（パート等）により、産前産後・育児休業制度がないため退職した 3. 取得した（取得中である） 4. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） 	1. 働いていなかった 2. 就労形態（パート等）により、産前産後・育児休業制度がないため退職した 3. 取得した（取得中である） 4. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

取得していない理由（番号を、[]にご記入ください）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

問 12-1 子どもが原則 1 歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長 2 歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業および企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 12 で「3. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 13 へお進みください。

問 12-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 離職後、再就職した方は「1.」に○をつけてください。

（1）母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

（2）父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問 12-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。

※ 年度初めでの認可保育園入園を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育園に入園した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択ください。

（1）母親

1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

（2）父親

1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

問 12-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。口内に数字でご記入ください。

（1）母親

実際の取得期間		歳			か月	希望		歳			か月
---------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----	----	----------------------	---	----------------------	----------------------	----

（2）父親

実際の取得期間		歳			か月	希望		歳			か月
---------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----	----	----------------------	---	----------------------	----------------------	----

問 12-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。口内に数字でご記入ください。

(1) 母親

	歳			か月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

(2) 父親

	歳			か月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

問 12-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 12-7 へお進みください。

問 12-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. 職場に長期休暇をとりにくい雰囲気があるため
6. 育休代替員の確保が難しく、早く復帰せざるを得なかったため
7. その他 ()

②父親

1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. 職場に長期休暇をとりにくい雰囲気があるため
6. 育休代替員の確保が難しく、早く復帰せざるを得なかったため
7. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

②父親

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

問 12-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問 12-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は、問 13 へお進みください。

問 12-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。あてはまる理由 すべて に○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問 12-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 13 へお進みください。

問 12-9 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 父親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

■ あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園・認定こども園など、問13-1に示した事業が含まれます。

問 13 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 利用している ⇒ 問 13-1 へ | 2. 利用していない ⇒ 問 13-5 へ |
|----------------------|-----------------------|

問 13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 13-5 へお進みください。

問 13-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育園
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員がおおむね6～19人のもの)
⇒ 現在、燕市にはありません。
(平成31年4月に開設予定) | 6. 家庭的保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) |
| 7. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) | 8. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 9. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業) | 10. 児童発達支援 ^{*1} |
| 11. その他
() | |

国が提示する調査票イメージにはありませんが、燕市独自の選択肢として追加しています。

*1 「児童発達支援」… 主に未就学の障がい児に対して、日常生活における基本的動作の指導や知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行います。

問 13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。
 なお、複数利用している場合は、通算してご記入ください。

(1) 現在

1 週あたり		日	1 日あたり			時間 (			時～			時)
--------	----------------------	---	--------	----------------------	----------------------	------	----------------------	----------------------	----	----------------------	----------------------	----

(2) 希望

1. 現在の利用のままでよい
2. 下記の利用時間を希望する

1 週あたり		日	1 日あたり			時間 (			時～			時)
--------	----------------------	---	--------	----------------------	----------------------	------	----------------------	----------------------	----	----------------------	----------------------	----

問13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

1. 居住地の小学校区内	2. 燕市内（1 を除く）	3. 他の市区町村
--------------	---------------	-----------

問 13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため 2. 保護者が現在就労している 3. 保護者が就労予定がある／求職中である 4. 保護者が家族・親族などを介護している 5. 保護者が病気や障がいがある 6. 保護者が学生である 7. その他 (	)
--	---

問 13 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ **該当しない方は、問 14 へお進みください。**

問 13-5 利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなど） 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 8. 子どもがまだ小さいため (	歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 (	)

問 14 すべての方にうかがいます。希望どおりに「平日の教育・保育の事業」が利用できるとした場合、あて名のお子さんが今後、回答欄の年齢に達したときに利用したいと思う教育・保育の事業の番号（選択肢 1～12）を 1 つ、下記の表に記入してください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

	0 歳	満 1 歳	満 2 歳	満 3 歳	満 4 歳	満 5 歳
番号						

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育園 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員がおおむね 6 ～19 人のもの) ⇒ 現在、燕市にはありません。 (平成 31 年 4 月に開設予定)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
9. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	10. 児童発達支援
11. その他 ()	12. 利用しない

国が提示する調査票イメージにはありませんが、燕市独自の選択肢として追加しています。

問 14-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 居住地の小学校区内	2. 燕市内（1 を除く）	3. 他の市区町村
--------------	---------------	-----------

問 14 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 14-3 問 14-2 で「1. はい」に○をつけた方は、その理由をきかせてください。

----- -----

問 16-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 16-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

⇒ 問 17 へ

問 16-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 16-4 そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者が休むことができた
2. 病気中の子どもを他人にみてもらうのは不安だった
3. 地域の事業の質に不安があった
4. 「病児・病後児のための保育施設」があることを知らなかった
5. 利用方法がわからなかった
6. 利用料がかかる・高い
7. 利用料がわからなかった
8. 利用しようとしたが予約が取れなかった
9. 実施場所が不便なため、利用できなかった
10. 必ず預かってもらえる保証がない
11. 利用する手続き（申請等）が手間である
12. 他の子どもから病気がうつる不安がある
13. その他（ ）

⇒ 問 17 へ

問 16-1 で「3. 」から「9. 」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 16-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。「3. 」から「9. 」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

できれば仕事を休んで看たい（看たいができない）

⇒

日

問 16-6 「できれば仕事を休んで看たい（看たいができない）」と思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない（とりにくい）
2. 子どもの看護を理由に休みを言い出しにくい
3. 自営業なので休めない
4. 休暇日数が足りないので休めない
5. その他（ ）

■ あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 17 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）		
1.	一時預かり （私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	日
2.	幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日
3.	ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	日
4.	夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	日
5.	ベビーシッター	日
6.	その他（ ）	日
7.	利用していない ⇒ 問 17-1 へ	

問 17 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 18 へお進みください。

問 17-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか わからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. 利用したいが、空きがない	10. その他（ ）

問 18 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 18-1 へ

1. 利用したい	計 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、 リフレッシュ目的	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	日
ウ. 不定期の就労	日
エ. その他（ ）	日
2. 利用する必要はない ⇒ 問 19 へ	

問 18 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 18-1 問 18 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|-------------|
| 1. 保育園 | 2. 幼稚園 |
| 3. 認定こども園 | 4. 小規模な保育施設 |
| 5. 事業所内保育施設 | 6. 認可外の保育施設 |
| 7. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） | |
| 8. その他（ ） | |

問 19 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）あった場合は、この 1 年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

1 年間の対処方法		日数
1. あった	ア. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった	泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ. その他（ ）	泊
2. なかった		

問 19 で「1. あった ア. 親族・知人(同居者を含む)にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ ア. 以外を選択した方は 問 20 へお進みください。

問 19-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

第 2 期までは、保護者の利用状況「実績」を調査していましたが、利用「希望数」を把握する必要があることから、調査票様式を『第 3 期手引』に従い、変更する方針です。
変更後の様式は「資料 3 の 5 ページ赤枠」をご覧ください。

■あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また希望がある場合は、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯	
2. ほぼ毎週利用したい			
3. 月に1～2回は利用したい		時から	時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯	
2. ほぼ毎週利用したい			
3. 月に1～2回は利用したい		時から	時まで

問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 () | |

問 21 「幼稚園」及び「認定こども園」の幼稚園機能部分を利用されていますか。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 利用している ⇒ 問 21-1 へ | 2. 利用していない ⇒ 問 22 へ |
|----------------------|---------------------|

問 21 で、「1.」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また希望がある場合は、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい			
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		時から	時まで

問 21-1 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-2 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 () | |

■ あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 22 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

1.	地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
	1 週あたり 回 もしくは 1 か月あたり 回程度
2.	燕市で実施している類似の事業（具体名： ）
	1 週あたり 回 もしくは 1 か月あたり 回程度
3.	利用していない

問 23 問22のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1.	利用していないが、今後利用したい
	1 週あたり 回 もしくは 1 か月あたり 回程度
2.	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
	1 週あたり 更に 回 もしくは 1 か月あたり 更に 回程度
3.	新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問 24 子育てしやすい環境整備のために、市に期待することを各項目についてお答えください。①～⑫の項目ごとに、それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

項目 \ 内容	積極的に進めるべき	今以上に充実するべき	現状を維持するべき	わからない
① ハッピーベビークラブ（母親学級）	1	2	3	4
② 保健センターでおこなう育児相談会	1	2	3	4
③ 家庭教育に関する学級・講座	1	2	3	4
④ 放課後児童クラブ、なかまの会	1	2	3	4
⑤ ふれあい子育てサロン	1	2	3	4
⑥ ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4
⑦ 子ども・若者相談(燕スマイル・サポート・ステーション)	1	2	3	4
⑧ 教育に関する電話相談	1	2	3	4
⑨ 子育て支援センター	1	2	3	4
⑩ 児童館、児童センター、こどもの森	1	2	3	4
⑪ 保育園、幼稚園の開放	1	2	3	4
⑫ 図書館での絵本の読み聞かせ	1	2	3	4

⑬ 子育てに関する電話相談	1	2	3	4
⑭ 燕市 子育てつばめ〜ル	1	2	3	4
⑮ 燕市が発行している「子育てガイド」	1	2	3	4
⑯ 児童館等で発行するチラシ	1	2	3	4
⑰ 燕市のホームページ	1	2	3	4
⑱ 保健センターでおこなう「たんぽぽの会」(障がい児をもつ親の会)	1	2	3	4
⑲ 総合相談窓口「妊娠から子育てまでの育み相談コーナー」	1	2	3	4
⑳ 利用者支援事業	1	2	3	4
㉑ 放課後等デイサービス*1	1	2	3	4
㉒ 児童発達支援	1	2	3	4

*1 「放課後等デイサービス」… 学校に通う障がい児に授業の終了後や休日に、生活能力の向上のために必要な訓練や社会との交流の促進、その他必要な支援を行います。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 25 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが重要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育ての経験者が身近に集まれる場の提供や交流機会をつくる
2. 子育て中の親子が集まったり遊んだりする場を増やす
3. 子育てサークルやグループの自主的な活動を支援する仕組みづくり
4. 子どもと親が一緒にできる活動機会を増やす
5. 地域が連携して、子どもの活動を支援する場づくり
6. 園、学校、保護、地域が協力し、子どもの安全や非行防止の活動を進める
7. 子どもに関するボランティアが活動しやすい環境をつくる
8. 子どもの居場所としての子ども食堂*1を継続的に運営する仕組みづくりとその支援
9. その他 ()
10. 特に必要はない

*1 「子ども食堂」… 子どもたちに安価で栄養のある食事と団欒を提供する取り組みやその居場所

問 25-1 燕市を子育てしやすいまちと感じますか。あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. とても子育てしやすい | 2. どちらかといえば子育てしやすい |
| 3. どちらかといえば子育てしにくい | 4. 子育てしにくい |

問 25-2 問 25-1 でそう判断された理由をあげてください。

4 歳児以下（平成 25 年 4 月 2 日生まれまで）の方は、最終ページ P22 にある自由意見へお進みください

5 歳児（平成 24 年 4 月 2 日～25 年 4 月 1 日生まれまで）の方は、引き続きご回答にご協力をお願いいたします

■あて名のお子さんが 5 歳児の方（2019 年 4 月小学校入学）に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3 年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅	週		日くらい
3. 友人・知人宅	週		日くらい
4. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい
5. 児童館*1・児童センター	週		日くらい
6. 放課後児童クラブ	週		日くらい →下校時から 時まで
7. なかまの会	週		日くらい
8. ファミリー・サポート・センターによる預かり	週		日くらい
9. 放課後等デイサービス	週		日くらい
10. その他（ ）	週		日くらい

*1 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅	週		日くらい
3. 友人・知人宅	週		日くらい
4. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい
5. 児童館・児童センター	週		日くらい
6. 放課後児童クラブ	週		日くらい →下校時から 時まで
7. なかまの会	週		日くらい
8. ファミリー・サポート・センターによる預かり	週		日くらい
9. 放課後等デイサービス	週		日くらい
10. その他（ ）	週		日くらい

問 26 または**問 27** で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 28 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（１）（２）それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。

（１）土曜日

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	時から 時まで
2. 高学年（４～６年生）も利用したい		
3. 利用する必要はない		

（２）日曜・祝日

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	時から 時まで
2. 高学年（４～６年生）も利用したい		
3. 利用する必要はない		

問 29 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	時から 時まで
2. 高学年（４～６年生）も利用したい		
3. 利用する必要はない		

■ 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境に関するご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

園から調査票が配布された場合は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、園の先生に提出してください。

また、郵送にて配布された場合は同封の返信用封筒（切手不要）でご返送ください。